



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	28-7782-7	版	4.00
発行日	2023/10/31	前発行日	2021/03/25

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M(TM) Hybrid Adhesive Sealant 760 White, Gray and Black

#### 3M スtockナンバー

62-5277-3932-0	62-5278-3932-8	62-5279-3932-6
7000121496	7000046611	7000046609

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

シーラント

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

生殖毒性：区分1

水生環境有害性 長期（慢性）：区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

#### シンボル

健康有害性

## ピクトグラム



## 危険有害性情報

H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

## 注意書き

## 安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

## 応急措置

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
-------------	-----------------------------------

## 保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

## 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

## その他の有害性

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。二酸化チタンは発がん性物質に区分されているが、本製品の通常の使用において健康影響のあるような暴露はないと考えられる。眼の損傷・刺激性は類似混合物の評価結果に基づき、分類基準に合致しない。

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
炭酸カルシウム	471-34-1	30 - 40
変性シリコーン樹脂	75009-88-0	20 - 30
フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖（主にC 1 0）分枝アルキルエステル	68515-49-1	< 15
石灰石	1317-65-3	< 15
酸化鉄（Fe304）	1317-61-9	< 10
酸化チタン（IV）	13463-67-7	6.2
酸化カルシウム	1305-78-8	2.6
脂肪酸（C=16-18）	67701-03-5	< 2.0

C10～18-アルカンスルホン酸フェニルエステル	70775-94-9	< 2.0
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	< 1.0
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	< 1.0
カーボンブラック(ナノマテリアル)	1333-86-4	1.0
ジオクチルビス(アセチルアセトネート)スズ	54068-28-9	< 1.0

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
水素ガス

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

刺激性蒸気あるいはガス  
窒素酸化物

燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。指定された個人保護具を使用する。

### 保管

水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。熱から離して保管する。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化カルシウム	1305-78-8	ACGIH	TWA : 2 mg/m <sup>3</sup>	
不活性あるいは有害なダスト	1317-65-3	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
石灰石	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	

不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA (吸入粒子) :10 mg/m <sup>3</sup>	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入性粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA (吸入性粒子) :3 mg/m <sup>3</sup>	
カーボンブラック (ナノマテリアル)	1333-86-4	ACGIH	TWA (吸入性分画) :3mg/m <sup>3</sup>	A3: 動物発がん性物質
カーボンブラック (ナノマテリアル)	1333-86-4	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	1333-86-4	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m <sup>3</sup>	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (提案)(Tiとして, 総粉じんとして)(8時間):2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA (提案)(Tiとして, 吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m <sup>3</sup> ;TWA (提案)(8時間):0.3 mg/m <sup>3</sup>	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
クラス 1 及び 2 以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8時間) :8 mg/m <sup>3</sup> ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間) :2 mg/m <sup>3</sup>	
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入粒子	471-34-1	ACGIH	TWA (吸入粒子) :10 mg/m <sup>3</sup>	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入性粒子	471-34-1	ACGIH	TWA (吸入性粒子) :3 mg/m <sup>3</sup>	

スズ、有機化合物	54068-28-9	ACGIH	TWA (スズとして) : 0.1 mg/m <sup>3</sup> 、STEL (スズとして) : 0.2 mg/m <sup>3</sup>	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
----------	------------	-------	---	----------------------------

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値)：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値

ppm：百万分率

mg/m<sup>3</sup>：ミリグラム/立方メートル

CEIL：天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。  
サイドシールド付安全メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。  
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：  
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态：	ペースト

色	複数色。
臭い	わずかなポリエーテル臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	> 120 °C
引火点	引火点なし
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	5 [試験方法: 推定値] [参照基準: 空気 = 1]
密度	1.61 g/cm <sup>3</sup>
比重	1.6 [参照基準: 水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	> 200 °C
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	1 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	16.1 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	1 % [試験方法: カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
モル重量	適用しない

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

熱。

#### 混触危険物質

アルコール類

水

アミン類

危険有害な分解物  
物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

追加情報

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
----	----	-----	---------



3M(TM) Hybrid Adhesive Sealant 760 White, Gray and Black

製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
炭酸カルシウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸カルシウム	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 3 mg/l
炭酸カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
変性シリコーン樹脂	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
変性シリコーン樹脂	経口摂取	ラット	LD50 5,000 mg/kg
石灰石	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
石灰石	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 3 mg/l
石灰石	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 12.5 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	ラット	LD50 > 9,700 mg/kg
酸化カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 > 2,500 mg/kg
酸化カルシウム	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,500 mg/kg
C10～18-アルカンスルホン酸フェニルエステル	皮膚	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
C10～18-アルカンスルホン酸フェニルエステル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
酸化鉄 (Fe304)	皮膚	非該当	LD50 3,100 mg/kg
酸化鉄 (Fe304)	経口摂取	非該当	LD50 3,700 mg/kg
脂肪酸 (C=16-18)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
脂肪酸 (C=16-18)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
カーボンブラック (ナノマテリアル)	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
カーボンブラック (ナノマテリアル)	経口摂取	ラット	LD50 > 8,000 mg/kg
ビニルトリメトキシシラン	皮膚	ウサギ	LD50 3,260 mg/kg
ビニルトリメトキシシラン	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 16.8 mg/l
ビニルトリメトキシシラン	経口摂取	ラット	LD50 7,120 mg/kg
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 >1.49, <2.44 mg/l
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	ラット	LD50 1,897 mg/kg
ジオクチルビス (アセチルアセトネート) スズ	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ジオクチルビス (アセチルアセトネート) スズ	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
石灰石	ウサギ	刺激性なし

酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
フタル酸のジC 9～11分枝鎖(主にC10)分枝アルキルエステル	ウサギ	わずかな刺激
酸化カルシウム	ヒト	腐食性
酸化鉄(Fe3O4)	ウサギ	刺激性なし
脂肪酸(C=16-18)	ウサギ	刺激性なし
カーボンブラック(ナノマテリアル)	ウサギ	刺激性なし
ビニルトリメトキシシラン	ウサギ	わずかな刺激
(トリメトキシシリルプロピル)エチレンジアミン	ウサギ	軽度の刺激
ジオクチルビス(アセチルアセトネート)スズ	ウサギ	刺激性なし

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	In vitro data	刺激性なし
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
石灰石	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
フタル酸のジC 9～11分枝鎖(主にC10)分枝アルキルエステル	ウサギ	軽度の刺激
酸化カルシウム	ウサギ	腐食性
酸化鉄(Fe3O4)	ウサギ	刺激性なし
脂肪酸(C=16-18)	ウサギ	刺激性なし
カーボンブラック(ナノマテリアル)	ウサギ	刺激性なし
ビニルトリメトキシシラン	ウサギ	刺激性なし
(トリメトキシシリルプロピル)エチレンジアミン	ウサギ	腐食性
ジオクチルビス(アセチルアセトネート)スズ	ウサギ	軽度の刺激

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
フタル酸のジC 9～11分枝鎖(主にC10)分枝アルキルエステル	モルモット	区分に該当しない。
酸化鉄(Fe3O4)	ヒト	区分に該当しない。
脂肪酸(C=16-18)	モルモット	区分に該当しない。
ビニルトリメトキシシラン	モルモット	陽性データはあるが、分類には不十分。
(トリメトキシシリルプロピル)エチレンジアミン	多種類の動物種	感作性あり
ジオクチルビス(アセチルアセトネート)スズ	マウス	感作性あり

#### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

#### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
フタル酸のジC 9～11分枝鎖(主にC10)分枝アルキルエステル	In vitro	変異原性なし

フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	In vivo	変異原性なし
酸化カルシウム	In vitro	変異原性なし
酸化鉄（Fe304）	In vitro	変異原性なし
脂肪酸（C=16-18）	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック（ナノマテリアル）	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック（ナノマテリアル）	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビニルトリメトキシシラン	In vivo	変異原性なし
ビニルトリメトキシシラン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	In vitro	変異原性なし
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	In vivo	変異原性なし
ジオクチルビス（アセチルアセトネート）スズ	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化チタン（IV）	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン（IV）	吸入した場合	ラット	発がん性
酸化鉄（Fe304）	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
カーボンブラック（ナノマテリアル）	皮膚	マウス	発がん性なし
カーボンブラック（ナノマテリアル）	経口摂取	マウス	発がん性なし
カーボンブラック（ナノマテリアル）	吸入した場合	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生活影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
石灰石	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 927 mg/kg/日	2世代
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 929 mg/kg/日	2世代
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 38 mg/kg/日	2世代
脂肪酸（C=16-18）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
脂肪酸（C=16-18）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	42日
脂肪酸（C=16-18）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビニルトリメトキシシラン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビニルトリメトキシシラン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビニルトリメトキシシラン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビニルトリメトキシシラン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.8 mg/l	器官発生活期
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
（トリメトキシシリルプロピル）エチレンジアミン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	28日

(トリメトキシシリプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	妊娠期間中
ジオクチルビス (アセチルアセトネート) スズ	経口摂取	発生機能に有毒	類似化合物	NOAEL 非該当	2 世代

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
酸化カルシウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	非該当	NOAEL 非該当	職業性被ばく
(トリメトキシシリプロピル) エチレンジアミン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	吸入した場合	呼吸器系   造血器系   肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 世代
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 686 mg/kg/day	90 日
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	肝臓   腎臓および膀胱   心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 320 mg/kg/day	90 日
酸化鉄 (Fe3O4)	吸入した場合	肺線維症   塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
脂肪酸 (C=16-18)	経口摂取	心臓   内分泌系   造血器系   肝臓   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	42 日
カーボンブラック(ナノマテリアル)	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ビニルトリメトキシシ	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL mg/l	14 週

ラン	場合					
ビニルトリメトキシシラン	吸入した場合	造血器系   眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	14 週
ビニルトリメトキシシラン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	40 日
ビニルトリメトキシシラン	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	40 日
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	皮膚	皮膚   内分泌系   造血器系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,545 mg/kg/day	11 日
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.015 mg/l	90 日
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	吸入した場合	造血器系   眼   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.044 mg/l	90 日
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	経口摂取	造血器系   神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	28 日
ジオクチルビス (アセチルアセトネート) スズ	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	類似化合物	NOAEL 非該当	

### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

ム						
炭酸カルシウム	471-34-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
変性シリコン樹脂	75009-88-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	液状化	実験	30 分	EC50	>83.3 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l

ル						
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>=10,000 mg/l
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	100 mg/l
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	100 mg/l
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	バクテリア	類似コンパウンド	18 時間	EC10	883 mg/l
C 1 0 ~ 1 8 -アルカン スルホン酸フェ ニルエステル	70775-94-9	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

C10~18 -アルカン スルホン酸 フェニル エステル	70775-94-9	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解 限界におい て毒性は見 られない	>100 mg/l
C10~18 -アルカン スルホン酸 フェニル エステル	70775-94-9	緑藻類	実験	72 時間	EC10	>=2 mg/l
(トリメトキ シシリプロ ピル) エチレ ンジアミン	1760-24-3	バクテリア	実験	16 時間	EC50	67 mg/l
(トリメトキ シシリプロ ピル) エチレ ンジアミン	1760-24-3	ファットヘッ ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	168 mg/l
(トリメトキ シシリプロ ピル) エチレ ンジアミン	1760-24-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	8.8 mg/l
(トリメトキ シシリプロ ピル) エチレ ンジアミン	1760-24-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	81 mg/l
(トリメトキ シシリプロ ピル) エチレ ンジアミン	1760-24-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	3.1 mg/l
ジオクチルビ ス (アセチル アセトネー ト) スズ	54068-28-9	ファットヘッ ドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LC50	282 mg/l
ジオクチルビ ス (アセチル アセトネー ト) スズ	54068-28-9	緑藻類	推定値	72 時間	ErC50	226 mg/l
ジオクチルビ ス (アセチル アセトネー ト) スズ	54068-28-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	70.2 mg/l
ジオクチルビ ス (アセチル アセトネー ト) スズ	54068-28-9	ファットヘッ ドミノウ (魚)	推定値	34 日	NOEC	27 mg/l
ジオクチルビ ス (アセチル アセトネー ト) スズ	54068-28-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	8.7 mg/l
ジオクチルビ	54068-28-9	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.62 mg/l



ス (アセチルアセトネート) スズ						
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	バクテリア	実験	5 時間	EC10	1.1 mg/l
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>957 mg/l
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	ニジマス	実験	96 時間	LC50	191 mg/l
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	169 mg/l
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	957 mg/l
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	28 mg/l
酸化カルシウム	1305-78-8	鯉	実験	96 時間	LC50	1,070 mg/l
カーボンブラック (ナノマテリアル)	1333-86-4	液状化	実験	3 時間	EC50	>=100 mg/l
カーボンブラック (ナノマテリアル)	1333-86-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
炭酸カルシウム	471-34-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
変性シリコン樹脂	75009-88-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石灰石	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フタル酸のジC9~11分枝鎖 (主にC	68515-49-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	74 %BOD/ThOD	OECD 301F

10) 分枝アルキルエステル						
酸化鉄 (Fe3O4)	1317-61-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	類似コンパウンド 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	72 CO2発生量/理論CO2発生量 (10-dayウィンドウの基準を満たさない)	OECD 301B - 修正シユツルム試験又は二酸化炭素
C10~18-アルカンスルホン酸フェニルエステル	70775-94-9	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	51 %BOD/ThOD	
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	39 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die-Away試験
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	1.5 分 (t 1/2)	
ジオクチルピス (アセチルアセトネート) スズ	54068-28-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	9 %BOD/ThOD	OECD 301F
ジオクチルピス (アセチルアセトネート) スズ	54068-28-9	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	<10 分 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	51 %BOD/ThOD	OECD 301F
酸化カルシウム	1305-78-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
カーボンブラック (ナノマテリアル)	1333-86-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
炭酸カルシウム	471-34-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

変性シリコーン樹脂	75009-88-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石灰石	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フタル酸のジC9～11分枝鎖（主にC10）分枝アルキルエステル	68515-49-1	推定値 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<14.4	OECD305-生体濃縮度試験
酸化鉄 (Fe304)	1317-61-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
脂肪酸 (C=16-18)	67701-03-5	類似コンパウンド BCF - 魚		生物濃縮係数	242	OECD 305類似法
C10～18-アルカンステルホン酸フェニルエステル	70775-94-9	実験 BCF - 魚	36 日	生物濃縮係数	56-212	
(トリメトキシシリルプロピル) エチレンジアミン	1760-24-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジオクチルビス (アセチルアセトネート) スズ	54068-28-9	類似コンパウンド BCF - 魚	30 日	生物濃縮係数	<100	OECD305-生体濃縮度試験
ジオクチルビス (アセチルアセトネート) スズ	54068-28-9	加水分解物生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.68	EC A.8 Partition Coefficient
ビニルトリメトキシシラン	2768-02-7	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-2	
酸化カルシウム	1305-78-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

カーボンブラック(ナノマテリアル)	1333-86-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

**土壌中の移動性**  
データはない。

**オゾン層への有害性**  
データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

### 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

##### 日本国内法規制(主な適用法令)

労働安全衛生法: 危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物(法第 57 条の 3)

労働安全衛生法: 施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法: 施行令 18 条有害物質(表示物質)

##### 主な法規制物質

労働安全衛生法: 通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
酸化カルシウム	酸化カルシウム	該当	該当
カーボンブラック(ナノマテリアル)	カーボンブラック	該当	該当
ジオクチルビス(アセチルアセトネート)スズ	すず及びその化合物	該当	該当
酸化鉄(Fe3O4)	酸化鉄	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当

### 16. その他の情報

**改訂情報**

セクション1：製品用途 情報の追加。  
セクション1：SAP Material Number 情報の追加。  
セクション2：環境影響ステートメント 情報修正。  
セクション2：GHS分類 情報修正。  
セクション2：健康有害性 情報修正。  
セクション3：成分表 情報修正。  
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。  
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。  
セクション8：眼の保護具 情報の削除。  
セクション8：眼および顔面保護 情報の追加。  
セクション8：mg/m<sup>3</sup> 記号 情報の追加。  
セクション8：作業環境許容値 情報修正。  
セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正。  
セクション8：保護具 - 眼 情報の追加。  
セクション8：ppm 記号 情報の追加。  
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。  
セクション9：密度情報 情報修正。  
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正。  
セクション9：燃焼点（下限）情報 情報修正。  
セクション9：燃焼点（上限）情報 情報修正。  
セクション9：揮発分 情報修正。  
セクション9：pH情報 情報修正。  
セクション9：追加性状に関する記載 情報修正。  
セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正。  
セクション9：揮発性有機化合物 情報修正。  
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。  
セクション11：急性毒性の表 情報修正。  
セクション11：発がん性の表 情報修正。  
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。  
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。  
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。  
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。  
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。  
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。  
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。  
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正。  
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。  
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。  
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。  
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。  
セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。  
セクション15：法規名 - 表 情報の削除。  
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうか

をご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。